

■ 会告

■ 第64回日本放射光学会評議員会議事録

日 時：2004年11月27日(土) 12:30~14:30

場 所：東京大学工学部6号館大会議室

出席者：岩崎 博，大野英雄，鎌田雅夫，上坪宏道，籠島 靖，木下豊彦，熊谷教孝，坂田 誠，曾田一雄，高田昌樹(行事幹事)，高橋敏男，田中健一郎，谷口雅樹，大門 寛，並河一道，野村昌治，松下 正(会長)，圓山 裕，柳下 明(編集幹事)，横山利彦 各評議員 桜井健次(庶務幹事)，木村真一(渉外幹事)，百生 敦(会計幹事)，下村 理(次期会長，オブザーバー)，西野(事務局)

欠席者：朝倉清高，飯田厚夫，柿崎明人，河田 洋，北村英男，小林克己，中井 泉，中川和道，松井純爾，若槻壮市(審議事項)

1. 議長に並河一道評議員を選出した。
2. 第63回評議員会議事録(案)を承認した。
3. 松下会長より，第9回学会奨励賞の選考結果の報告があり，承認した。来る1月7日の第18回日本放射光学会総会場で，雨宮健太(東大院・理・化学，X線分光器の開発とそれを用いた新規手法による表面化学，表面磁性の研究)，原田慈久(理研量子電子材料研究チーム，軟X線発光の偏光依存性の研究とその応用)，矢代航(物材機構ナノマテリアル研，多波回折現象を利用した位相問題の研究とSiO₂/Si界面下の歪みの解析への応用)の3名への授賞が行われる。
4. 百生会計幹事より，財政支出に関する取り決め(1998.7.18および2001.9.1評議員会確認事項)に関し，年会・合同シンポジウムの講演者への旅費支給を国内に限ることを明文化し，海外からの講演者に対する学会としてのサポートの範囲を明確にしたい旨，説明があり，承認した。
5. 百生会計幹事より，会費未納が1年続いた会員への学会誌送本を停止することとしたい旨，説明があり，承認した。これにより，会費未払いの防止効果を期待したい。なお，遡って会費を支払った会員には送付を停止していたバックナンバーはまとめて送付する。
6. 協賛・講演関係の4件の承認案件(東北大学多元物質科学研究所研究発表会(協賛依頼)，第14回機能性材料の3次元微細加工技術講演会(協賛依頼)，第4回東北放射線利用総合シンポジウム(協賛依頼)，Molecule-Based Information Transmission and Reception-Application of membrane protein biofunction-(MB-ITR2005)(協賛依頼)を承認した。また会員異動(正会員入会78名，同退会4名，賛助会員退会1社)の承認を行った。

(幹事報告)

1. 高田行事幹事より，1月7日~9日に開催される第18回年会・合同シンポジウムの準備状況について報告があった。初めての開催地であることのハンディにもかかわらず，講演数392(口頭72，ポスター315)，出展企業数39と順調である。市民公開講座「SAGA シンクロトロンって何だろう」では，

古川康(佐賀県知事)，北村英男(理化学研究所)，中井 泉(東京理科大学)の3氏の講演を企画しており，パンフレットやポスターを作って宣伝を行っている。以上の行事幹事報告を承認した。

2. 柳下編集幹事より，学会誌「放射光」の現状について報告があった。2004年度から始まったカラー化に関し，当初経費増大が心配されていたが，結果的には，初期の見積りより1号あたり約20万円安く出版できることになった。また光源シリーズが終了するので，13回分の内容をもとに加筆したものを単行本として学会から出版する方向で編集委員会で計画を具体化する。光源シリーズの次には光学系シリーズを企画している。以上の編集幹事報告を承認した。
3. 木村渉外幹事より，学会のホームページサーバーの運用状況について報告があった。すでに新しいサーバーへの移行は完了している。来年度以後，年会・合同シンポジウムの予稿の電子ファイル受付を行うこと，その際，講演申込や参加登録をセットで行うこと等を検討している。このほか，猿橋賞や分子科学研究所学会等連絡会議構成員の推薦依頼への対応を行った。以上の渉外幹事報告を承認した。
4. 百生会計幹事より，予算の執行状況に関する報告があった。学会誌「放射光」はVol. 17, No. 1がカラー化されたが，当初計画の予算を下回っており心配はない。8月に開催した上海放射光施設に関するワークショップについては行事開催費を執行した。第18回年会・合同シンポジウムに関しては，企業展示の数が確保できており，収支のバランスがとれた執行ができるという予想をしている。また会費未納状況についての資料をもとに，もし知っている人がリストにあれば，ぜひ声をかけて会費を払うようお願いしてほしい旨の要請があった。以上の会計幹事報告を承認した。
5. 桜井庶務幹事より，松下会長体制2年を振り返っての総括についての説明があった。松下会長のポリシーに従い，4つの大きな目標(ツールとしての放射光技術を磨く努力，放射光の応用を拡大・深化させる努力，放射光の未来を描く努力，放射光分野の人材育成への協力・貢献)に向けて，それぞれ取り組みを進めてきたが，2年間で特に進んだと認められるのは，基本的な学会活動体制の構築に関わるものである。幹事会や評議員会は従来よりも活性化されており，今後，放射光のグランドデザイン検討や学術的なディスカッションの深化等の多くの課題に取り組む基礎体力が充実してきた。会員拡大運動については，11月18日現在数は1314名であり，松下会長着任当初に比べ約110名の増である。以上の庶務幹事報告を承認した。

(その他)

1. 次回第65回評議員会は，2005年1月7日(土)12時~13時に，サンメッセ鳥栖で開催される。
2. 松下会長より，第3期科学技術基本計画に関し，放射光コミュニティとしての意見があれば11月末までにKEKの戸塚機構長に出す機会がある旨，紹介があり，その対応に関し，活発な

討論が行われた。その結果、7月に開催された若手ワークショップのサマリーをベースとし、今後の研究においてどんな光が必要であるか、どういう計測が求められ、どのような基礎研究が拓かれるか等を短くまとめたものを準備することになった。松下会長、下村次期会長、高田行事幹事に、田中均氏(SPring-8)を加えた4名で作業を行い、11月29日(月)に電子メールで全評議員に内容を知らせるとともに、意見を求め、同日中に集約する。

■日本放射光学会第65回評議員会議事録

日時：2005年1月7日(金) 12:00~13:00

場所：サンメッセ鳥栖 佐賀県鳥栖市

出席者：柿崎明人、上坪宏道、河田 洋、北村英男、木下豊彦、熊谷孝教、坂田 誠、田中健一郎、中井 泉、野村昌治、松井純繭、松下 正、圓山 裕、横山利彦(編集幹事)、大熊春夫、大隅一政、古宮 聡、桜井健次、菅 滋正、鈴木芳生、難波孝夫、野田幸男、浜谷 望、村上洋一 各評議員
下村 理(会長)、高田昌樹(庶務幹事)、木村真一(行事幹事)、中川敦史(会計幹事)、澤 博(渉外幹事)、西野三和子(事務局)、田口綾子(事務局)、百生 敦(前会計幹事、オブザーバー)

欠席者：石川哲也、上野信雄、宇理須恒雄、佐藤 繁、谷口雅樹、宮原恒晃

(審議事項)

1. 議長選出

議長に野田幸男評議員を選出した。

2. 前回評議員会議事録の承認

第64回評議員会議事録(案)を承認した。

3. 放射光学会協賛・後援

協賛2件、後援1件を承認した。

4. 総会議事の承認

第18回日本放射光学会総会議事を承認した。

5. 会員の移動

高田庶務幹事より会員の移動について説明があった。第64回評議員会以降の入退会者の報告が行われ承認された。入会：正会員9名、学生会員5名。退会：正会員23名、賛助会員1社。会費未納のための強制退会：27名。その結果1月4日時点で、正会員1095名、学生会員183名、名誉会員3名、賛助会員54社59口となった。

(報告及び承認事項)

1. 前会長挨拶

松下正前会長より、前執行部の活動についての総括、及び挨拶があった。

2. 2004年学会活動報告

桜井健次前庶務幹事より2004年の学会活動について報告があった。

3. 2004年決算報告

百生敦前会計幹事より、2004年の決算報告(2003年12月21日~2004年12月20日)があり、承認された。会費の未納、広告収入の減少、若手企画などのシンポジウム開催の活発な行事活動による行事活動費及び事務所経費の増額により、

2004年予算案より240万円弱の支出増となり、繰越金より支出された。決算報告は議事録の最後に示す。

4. 2005年新会長の挨拶

下村理新会長の就任の挨拶及び、学会活動についての所信表明があった。

また、以下の新幹事の指名があり承認された。また、事務局の紹介があった。

庶務幹事：高田昌樹(JASRI)、行事幹事：木村真一(分子研)、編集幹事：横山利彦(分子研)、渉外幹事：澤 博(PF)、会計幹事：中川敦史(阪大・蛋白研)、事務局：西野三和子(WORDS)、田口綾子(WORDS)

5. 2005年の学会組織・事業計画

高田庶務幹事より2005年の学会組織、及び事業計画について報告があり、承認された。引き続き下記に示す各種委員会の委員が提示された。

[編集委員会] 横山利彦(委員長)、青柳秀樹、五十嵐教之、伊藤和輝、大橋治彦、小野寛太、組頭広志、柴田直樹、繁政英治、鈴木 哲、高倉かほる、藤沢正美、矢橋牧名

[行事委員会] 木村真一(委員長)、木村洋昭、島田賢也、高橋和敏、田中 均、原 徹、原田健太郎、平野馨一、間瀬一彦、八木伸也、羽島良一

[渉外委員会] 澤 博(委員長)、足立伸一、宇佐美徳子、北川 宏、櫻井吉晴、繁政英治、鈴木昌世

会員名簿管理の自動化、予算節減、安全対策のため、会員名簿のWeb化について検討する事が提案された。個人情報の安全管理について特に配慮する方向で検討することが要望された。

6. 2005年の行事活動方針

木村行事幹事より、2005年の行事活動方針について説明があり、承認された。

7. 2005年の編集活動方針

横山編集幹事より、2005年の編集活動方針について説明があり、承認された。

会誌の電子化について、検討することが報告された。

8. 2005年の渉外活動方針

澤渉外幹事より、2005年の渉外活動方針について説明があり、承認された。

予算を伴わない協賛・後援の承認については、時機に応じた渉外対応をするために、従来のような事前承認ではなく、渉外幹事・会長の仮承諾の後、後日の評議員会での正式承認を得ることで良いことが確認された。

9. 2005年の予算案

中川会計幹事より表1の2005年予算案(2004年12月21日~2005年12月20日)が提案され、承認された。予算案は議事録の最後に示す。

10. 評議員会日程

高田庶務幹事より2005年評議員会の予定について以下のよう提案され承認された。

第66回 4月2日(土) 14:00-16:00東京地区

第67回 9月3日(土) 14:00-16:00東京地区

第68回 11月26日(土) 14:00-16:00東京地区

■第18回（2005年）日本放射光学会総会議事録

日 時：2005年1月7日（金） 17：40～18：40

場 所：サンメッセ鳥栖 佐賀県鳥栖市

出席者：111名 委任状：199名 計：310名

よって正会員の1/10（110名）以上の参加で総会は成立（日本放射光学会定款第28条による）

（議事）

1. 議長選出

議長に野田幸男評議員を選出した。

2. 前会長挨拶

松下正前会長より、前執行部の活動についての総括、及び挨拶があった。

3. 2004年学会活動報告

桜井健次前庶務幹事より2004年の学会活動について報告があった。

4. 2004年決算報告

百生敦前会計幹事より、2004年の決算（2003年12月21日～2004年12月20日）が報告された。会費の未納、広告収入の減少、若手企画などのシンポジウム開催の活発な行事活動による行事活動費及び事務所経費の増額により、2004年予算案より240万円弱の支出増となり、繰越金より支出されたことが説明された。

5. 2005年新会長の挨拶

下村理新会長の就任の挨拶及び、学会活動についての所信表明があった。

また、以下の新幹事、事務局の紹介があった。

庶務幹事：高田昌樹（JASRI）、行事幹事：木村真一（分子研）、編集幹事：横山利彦（分子研）、渉外幹事：澤 博（PF）、会計幹事：中川敦史（阪大・蛋白研）、事務局：西野三和子（WORDS）、田口綾子（WORDS）

6. 2005年の学会組織・事業計画

高田庶務幹事より2005年の事業計画及び、下記に示す学会組織が報告された。

[編集委員会] 横山利彦（委員長）、青柳秀樹、五十嵐教之、伊藤和輝、大橋治彦、小野寛太、組頭広志、柴田直樹、繁政英治、鈴木 哲、高倉かほる、藤沢正美、矢橋牧名
[行事委員会] 木村真一（委員長）、木村洋昭、島田賢也、高橋和敏、田中 均、原 徹、原田健太郎、平野馨一、間瀬一彦、八木伸也、羽島良一

[渉外委員会] 澤 博（委員長）、足立伸一、宇佐美徳子、北川 宏、櫻井吉晴、繁政英治、鈴木昌世

7. 2005年の行事活動方針

木村行事幹事より、2005年の行事活動方針について報告された。

8. 2005年の編集活動方針

横山編集幹事より、2005年の編集活動方針について報告された。

9. 2005年の渉外活動方針

澤渉外幹事より、2005年の渉外活動方針について報告された。

10. 2005年の予算案

中川会計幹事より2005年予算案（2004年12月21日～2005年12月20日）が報告された。予算案は昨年度の実績に基づくものであることが説明された。

11. 日本放射光学会細則の改訂について

高田庶務幹事より以下の細則の改定について報告された。

（改訂前）

第4条 2 評議員会は次期会長候補者全員の氏名・所属を全正会員に通知して会長任期2年目の10月31日以前に投票を求める。次期会長は、その投票結果に従い決定される。ただし、票数が同じ場合は、現会長が決定する。

（改訂後）

第4条 2 評議員会は次期会長候補者全員の氏名・所属を全正会員に通知して会長任期2年目の10月31日以前に投票を求める。次期会長は、その投票結果に従い決定される。ただし、票数が同じ場合は、評議員会が決定する。

11. その他

会員より名簿の安全管理について検討するよう要望があった。アジア地域の放射光施設との連携について、多角的な検討が要望された。

■会員異動

第65回評議員会（2005年1月7日）で承認

《正会員入会》

吉村 政人 阪大 蛋白研
上田 和浩 日立製作所 日立研究所
秋葉 勇 北九州市立大学 国際環境工
北川 宏 九大 理学研究院 化学部門
高橋 淳一 科学技術振興機構 ERATO
安田 伸広 高輝度センター 利用研究促進部門 I
青木 一彦 兵庫県立大 工 電気系工学
室 隆桂之 高輝度センター
副島 雄児 九大 高等教育総合開発研究センター

以上9名

《学生会員入会》

西辻祥太郎 京大 院 工
梅名 泰史 京大 原子炉実験所
秋田 総理 阪大 タンパク質研究所
古林 健司 阪大 産研 量子ビーム発生科学分野
河井 友也 姫工大 院

以上5名

2004年決算書

自 2003年12月21日

至 2004年12月20日

1. 収入の部

(単位 円)

科 目	金 額	細 目	
1. 正会員会費収入	6,201,000	会誌収入 170,875 別刷収入 1,258,807	
2. 学生会員会費収入	231,000		
3. 賛助会員会費収入	2,650,000		
4. 購読会員会費収入	520,200		
5. 会誌広告料収入	3,604,190		
6. 会誌販売収入	1,429,682		
7. 年会・合同シンポ収入	9,558,800		
8. 受取利息	47		
収 入 の 部 合 計			24,194,919

2. 支出の部

科 目	金 額	細 目	
1. 学会誌出版費	9,852,392	会誌印刷費	7,794,817
		別刷印刷費	343,811
		原稿料	533,400
		発送手数料・郵送料	1,180,364
2. 学会奨励賞副賞	400,000	第8回学会奨励賞副賞	400,000
3. 行事開催費	977,543	行事開催費	977,543
4. 年会・合同シンポ支出	8,181,145	開催費	7,043,585
		委員会旅費	335,833
		事務管理費	801,727
5. 会議費	1,689,781	会場費	115,905
		旅費交通費	1,573,876
6. 通信費	896,685	電話料金・郵送料	896,685
7. 事務所維持費	121,275	事務所賃貸料	115,500
		水道光熱費	5,775
8. 会員業務費	1,636,306	名簿管理費	510,300
		印刷費	454,103
		振込手数料・運賃	671,903
9. 会計業務費	460,000	税理士顧問料	460,000
10. 一般事務管理費	1,415,554	会計管理費	231,000
		事務管理費	1,184,554
11. その他事務経費	942,099	事務用品費	190,029
		消耗品費	563,345
		給料手当	36,000
		事務局交通費	152,725
支 出 の 部 合 計			26,572,780

3. 収支計算の部

当 期 収 支 差 額	△2,377,861
-------------	------------

2005年予算案

自 2004年12月21日
至 2005年12月20日

1. 収入の部

(単位 円)

科 目	予 算	摘 要
1. 正会員会費収入	6,858,000	¥6,000×1143
2. 学生会員会費収入	360,000	¥2,000×180
3. 賛助会員会費収入	3,050,000	¥50,000×61口 (56社)
4. 購読会員会費収入	609,000	¥15,000×25 + ¥30,000×3 + ¥12,000×10 + ¥24,000×1
5. 会誌・会員名簿広告収入	4,200,000	年間契約20社/月号平均22社掲載/6回発行/名簿広告
6. 会誌販売収入	1,400,000	別刷代金, その他刊行物販売収入含む
7. 年会・合同シンポ収入	8,356,800	第18回年会・合同シンポ
8. 前期繰越金	12,287,847	
合 計	37,121,647	

2. 支出の部

科 目	金 額	細 目
1. 学会誌出版費	9,650,000	会誌印刷費 (100頁×6回・カラー頁含む ¥7,800,000) 別刷印刷費 (¥350,000) 原稿料 (¥500,000) 発送手数料・郵送料 (¥1,000,000)
2. 会員名簿製作費	1,000,000	会員名簿印刷費および発送費
3. 学会奨励賞副賞	600,000	第9回学会奨励賞 (3名)
4. 年会・合同シンポ支出	7,845,225	開催費 (¥6,195,225) 委員会旅費 (¥800,000) 事務管理費 (¥850,000)
5. 会議費	1,300,000	会場費 (¥100,000) 旅費交通費 (¥1,200,000)
6. 通信費	900,000	電話料金・郵送料
7. 事務所維持費	132,300	事務所賃貸料 (¥10,000×12=120,000) 水道光熱費 (¥500×12=6,000) 消費税 (5%¥6,300)
8. 会員業務費	1,000,000	名簿管理費 (¥300,000) 印刷費 (封筒など¥300,000) 振込手数料・運賃 (¥400,000)
9. 会計業務費	460,000	税理士顧問料
10. 一般事務管理費	1,200,000	会計管理費 (¥20,000×12=240,000) 消費税 (5%¥12,000) 事務管理費 (¥948,000)
11. その他事務経費	700,000	事務用品費 (¥100,000) 消耗品費 (コピー・カウント料金等¥400,000) 給料手当 (¥100,000) 交通費 (¥100,000)
12. 行事開催	200,000	
13. 予備費	12,134,122	
合 計	37,121,647	

日本放射光学会2005年組織

■会長（任期：2005.1.1-2006.12.31）

下村 理（JASRI）

■幹事（任期：2005.1.1-2006.12.31）

庶務幹事 高田 昌樹（JASRI）
 行事幹事 木村 真一（分子研）
 編集幹事 横山 利彦（分子研）
 渉外幹事 澤 博（KEK-PF）
 会計幹事 中川 敦史（阪大・蛋白研）

■評議員（任期：2005.1.1-2006.12.31）

石川 哲也（理研播磨）
 上野 信雄（千葉大）
 宇理須恒雄（分子研）
 大熊 春夫（JASRI）
 大隅 一政（KEK）
 古宮 聡（JASRI）
 桜井 健次（物材機構）
 佐藤 繁（東北大）
 菅 滋正（阪大）
 鈴木 芳生（JASRI）
 難波 孝夫（神戸大）
 野田 幸男（東北大）
 浜谷 望（お茶女大）
 宮原 恒昱（都立大）
 村上 洋一（東北大）
 （任期：2004.1.1-2005.12.31）
 柿崎 明人（東大物性研）
 上坪 宏道（理研）
 河田 洋（KEK）
 北村 英男（理研）
 木下 豊彦（東大物性研）
 熊谷 教孝（JASRI）
 坂田 誠（名古屋大）
 田中健一郎（広大）
 谷口 雅樹（広大）
 中井 泉（東京理科大）
 野村 昌治（KEK）
 松井 純爾（兵庫県立大）
 松下 正（KEK）
 圓山 裕（広大）
 横山 利彦（分子研）

■行事委員（任期：2005.1.1-2006.12.31）

◎木村 真一（分子研）
 木村 洋昭（JASRI）
 島田 賢也（広大）
 高橋 和敏（佐賀大）
 田中 均（JASRI）
 原 徹（JASRI）

◎委員長

原田健太郎（KEK-PF）
 平野 馨一（KEK-PF）
 間瀬 一彦（KEK-PF）
 八木 伸也（名大）

■渉外委員（任期：2005.1.1-2006.12.31）

◎委員長

◎澤 博（KEK-PF）
 足立 伸一（KEK-PF）
 宇佐美徳子（KEK-PF）
 北川 宏（九大）
 櫻井 吉晴（JASRI）
 繁政 英治（分子研）
 鈴木 昌世（JASRI）

■編集委員（任期：2005.1.1-2006.12.31）

◎委員長

◎横山 利彦（分子研）
 青柳 秀樹（JASRI）
 五十嵐教之（KEK-PF）
 伊藤 和輝（理研播磨）
 大橋 治彦（JASRI）
 組頭 広志（東大工）
 繁政 英治（分子研）
 柴田 直樹（兵庫県立大理）
 鈴木 哲（NTT 物性基礎研）
 高倉かほる（ICU）
 藤沢 正美（東大物性研）
 矢橋 牧名（JASRI）
 （任期：2005.1.1-2005.12.31）
 上原 康（三菱電機）
 古宮 聡（JASRI）
 櫻井 吉晴（JASRI）
 中尾 裕則（東北大院理）
 仲武 昌史（広大 HiSOR）
 平野 馨一（KEK-PF）
 持箸 晃（分子研）
 吉越 章隆（原研）
 （任期：2005.1.1-2005.6.30）
 小野 寛太（KEK-PF）

■2005年の主な事業計画

第18回総会

2005年1月7日 サンメッセ鳥栖

第18回年会・放射光科学合同シンポジウム

2005年1月7日-9日 サンメッセ鳥栖

第9回学会奨励賞授与

2005年1月7日 放射光学会年会総会

学会誌発行（年6回）

シンポジウムおよび講習会開催（年1~2回予定）

協賛

・日本表面科学会関西支部 & 表面技術協会関西支部合同研究

会一電極表面の科学とナノテクノロジー—
会期/2005年1月20日 13:00-17:20
会場/神戸大学瀧川記念学術交流会館
・第6回日本表面科学会関西支部市民講座「X線で探る古代
のロマン—考古科学のすすめ」
会期/2005年3月19日 13:00-15:40
会場/大阪市立大学工学部大講義室
後援
・第8回X線顕微鏡国際会議
会期/2005年7月25日-29日

会場/イーグレひめじ(予定)国際シンポジウム
・分子ナノテクノロジーの最前線
会期/2005年11月15-16日
会場/奈良県文化会館
2006年予定
第19回年会・放射光科学合同シンポジウム
名古屋大学・分子科学研究所共同開催
会期/2006年1月7-9日
会場/名古屋大学工学部
第10回学会奨励賞授与

一口メモ

たらのき

ウコギ科の落葉小高木で、日当りの良い山野に生え、幹は直立し、大小の鋭いトゲを有する。葉は枝先に集まって傘のように開き、裏面は白色をおび、葉柄の基部は茎を抱く。若芽(たらの芽)は山菜の王様といわれ、てんぷらや汁の具として食用される。乾燥樹皮や根皮は糖尿病の、トゲは高血圧の民間薬として使用されている。初秋、白黄色の小さい花を球状に集めてつけ、開花後紫黒色扁形の核果を結び、キジバト、ツグミなどの鳥類に好まれる。

3月は別れの季節です。先日、36年間の長きに亘り、応用物理学の発展に取り組んでこられた親しい友人の最終講義を聞く機会がありました。大学入学から約36年間、勉学、研究さらには教育、特に後進の育成に関して並々な情熱を持って、すばらしい成果を挙げられた話を伺い、感激しました。これからも、ある財団の研究者としてご活躍なさるとお聞きし、ほっとしています。しかし、日本では定年になりますとほとんどの方は大学を去ることになりますが、米国のように、冠講座をもっと増やして、大学にて現役と異なるタイプの研究と教育に貢献する機会を増やすべきでしょう。

(No. 62, K. Ohshima)

(補足) 前回事述べましたインドネシアのセンビリング博士とはその後連絡が取れ、無事であることを確認しました。

